

知ってもらいたい家族がいる。



写真展と

音声配信

障がい児のいる家族の生活のこと、あなたをご存知ですか？

日本には医療的ケア児が約2万人、重症心身障害児（者）が約4万3千人。
在宅療養は家族の負担が重く、24時間ケアの為に仕事を失う、新たな就労を
断念せざるを得ない、介護疲れによる体調の不良、きょうだい児のケア問題、
社会との繋がりを失い孤立…メインで介護をする母親の心の内、それを知ってもらいたい。

「当たり前のことなんて何一つない」

目の前の子どもが生死をさまよう。だからこそ、どのような状況下の中でも、
今、この瞬間を大切に過ごす姿を私たちにを見せてくれているのかもしれない。

「生まれてきてくれて ありがとう」

奇跡を起こしてくれてありがとう。
いろんな人に出逢わせてくれてありがとう。
最後には感謝しか残らない。
大切な事に気づかせてくれる家族のストーリー。

2021年11月9日（火）～14日（日）10:00～18:00 入場無料

北海道札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7
6階（11/9～11/12）・1階展示ホール（11/13,14）

- 期間中、毎日先着5名に「知ってもらいたい家族がいる」小冊子（40P）プレゼント
- 期間限定で「知ってもらいたい家族」一部未公開音声を会場で配信

撮影 / 写真家 福添 麻美 文・音声配信 / エムズコドモシットイング 子どもの作業療法士 青木 美紀
主催 / 北海道立女性プラザ 「女性プラザ祭 2021」